

朝酌人推協だより

朝酌地域人権教育推進協議会



平成28年度

朝酌地域人権教育推進協議会の取組み



朝酌地域人権教育推進協議会

会長 深貝 恭悦

朝酌地域人権教育推進協議会の活動につきましては、日頃よりご協力、ご支援をいただきありがとうございます。

今年度は二つの事業を実施しました。

一つは朝酌以外の他地区との人権教育交流会です。八束地区の方たちと交流研修会を実施しました。六月に岡山県瀬戸内市にある、ハンセン病の国立療養所長島愛生園へ訪問させていただきました。有意義な交流研修会でした。この後に、参加された方々の感想を掲載していますので、ご覧ください。

二つ目は毎年朝酌公民館で実施している人権教育研修会です。研修の

内容は、平成二十八年十月二日に施行された松江市障がい者差別解消条例についての説明会でした。障がいは多種多様で、同じ障がいでも

一律ではないことや、外見では分からない障がいのために理解されず苦しんでいる方もおられること等、周囲の理解や配慮があれば、できることがたくさんあることなど新たな気づきや心



づかひの勉強になりました。

私自身も松江市や島根県が主催される人権研修会に何回か出席させていただき、松江市地域人権教育推進連合会代表者会議で、今年度の松東ブロックでは、人権が尊重されるまちづくりのため「笑顔で挨拶をかわそう」という行動目標が決まりました。一人一人の個性の違いを尊重し、様々な文化や多様性を認め合い、すべての人の人権が真に尊重されることや、「まず知ること」の大切さをより一層感じ、時には視点を変えてみたり、相手の気持ちを考えることが必要だと思えました。身近なところではないうちに人権問題が起きていることにも気付かされました。

また、最近マスコミなどで新アメリカの大統領の人権問題や国内では福島県の震災原子力発電事故避難者の差別、偏見の人権問題などが報道されています。どうして人権問題は少なくならないのでしょうか。



朝酌・八束交流研修（長島愛生園）

来年度も身近な人権問題などに関して地域の皆様からご意見をいただきながら計画し活動していきたいと思っておりますので、積極的にご参加いただければと思っております。今後よろしくお願ひいたします。



朝酌・八束合同視察研修

視察先：国立療養所長島愛生園
(岡山県瀬戸内市)

平成28年
6月29日
(水)

朝酌・八束交流研修

長島愛生園を訪ねて

八束地域人権同和教育推進協議会

会長 渡部 耕 二

今年度の人権研修は、朝酌公民館との交流研修として、六月に岡山県瀬戸内市にある長島愛生園を訪問しました。長島愛生園はハンセン病の国立療養所として昭和五年に開設されて以来、入所された方々の苦難の歴史とともに人権回復をめざす戦いの歴史の場でもあったことを愛生園の方から話を伺い、詳しく知ることができました。

ハンセン病は現在では早期発見と薬によって完全に治癒する病気ですが、顔や手指などが変形する障がいが残ることや感染することへの恐怖、治らない病気だという誤解が重なり、併せて国の法による強制隔離によって、根深く残されてきたと考えられています。

明治以来、ハンセン病患者を隔離してきた法律が一九九六（平成八）年に廃止され、国の責任を問う「ハンセン病訴訟」が熊本、東京、岡山の三つの地方裁判所で相次いで提起され、療養所の入所者と退所者の勝訴が確定しました。しかし、法的な解決とは別に、心の問題としての偏見や差別はなくなつた訳ではありません。二〇〇三（平成十五）年には、九州のホテルでハンセン病が完治した人達に対して宿泊を拒否する事件が起きました。

現在でも、多くの療養所の入所者や退所者は、いまだに故郷へ帰ることもできないのが現状とのこと。長島愛生園の入所者の高齢化が進み、ほとんどの方がここで生涯過ごされるという話を聞くにつけ、自分の無知を恥じる思いがした。

「無知は偏見を生み、偏見は差別を生む」重く考えさせられました。

今回、朝酌の皆さんと一緒に研修が出来、大変有意義でした。朝酌、八束公民館の皆さんに感謝申し上げます。



八束の皆さんと



納骨堂の前で

研修に参加して

「人は悲しみが多いほど人は優しくできるのだから」みなさんよくご存じの歌詞ですが、優しくしようにも囚われの身となつてはそれも不可能です。まさに今回研修会場となつた長島愛生園もその一つでライ患者隔離施設として優生保護法の下、人権無視の結果がなされたのも事実です。

現在もまた違つ形で、例えば震災・原発被害者に対して人権が脅かされていますし、地域あるいは家庭の中もしかりです。子どもたち並びに娘・息子を狭い世界に囚い込まず、社会の子、地域の子として接していきたいと思ひました。

(T・K)

参加者の感想 (一部を抜粋)

- ・ 誰を恨むでもなく自治会も作り強く賢く暮らしてこられた皆様に敬服いたしました
- ・ 長島愛生園の将来に、世界遺産の栄誉の早からんことを祈ります
- ・ 学芸員の方の説明がとてもわかりやすかった。ハンセン病に限らず差別偏見は事実を知らない事から出発していることが非常によくわかりましたが、多くの人にこのことを知ってほしいと感じた
- ・ 少し時間がかかったが、昨年のホロコースト記念館に続きとても勉強になり有意義だった
- ・ 今後もこうした差別が起こらなければいいが…新たな差別を生まない世の中を願います
- ・ 邑久長島大橋を建設するにも差別や偏見のため何十年も反対があったのには驚いた
- ・ 病気のため体の一部が変形しているだけで差別や偏見をもつ人間の弱さを変えていくには正しい知識をもつよう研修、交流、学習が必要だ
- ・ 長島愛生園の訪問は初めてであり、非常に感銘を受けた。人権について改めて考えさせられました
- ・ 様々な差別があることを感じた
- ・ ハンセン病に対する差別は広く勉強する機会がありますが、ごく身近に存在する差別についても考えていなくてはという思いを強くした
- ・ らい予防法廃止など長い年月が経過したことが悲しい
- ・ 大変な苦勞があった。思い違いで人を差別する事は悲しい事だと感じた
- ・ 多少は知っているつもりだったが想像していなかった事が色々わかった
- ・ 歴史遺産として保存してほしい
- ・ ハンセン病に限らず私たちは知らず知らずの内に色めがねで見たり…他人に差別している事があるんだなあとつくづく感じた
- ・ 人々の誤解が人々を大変な不幸に陥れる。もっともこの病気の正しい知識はなかったのも仕方がないのかもしれないが、今は正しい理解があれば悲劇は避けられると思う
- ・ 正しい知識があれば人類の幸福につながると思う
- ・ 過去の話、過去の勉強とと思っていましたが、現在に至るまで長い間の問題だとわかった。その場だけの研修ではなく、これからの人権問題につなげていきたい
- ・ 正しく理解し人権や差別問題等に考えていくことが必要



障がい者差別解消条例説明会

平成29年3月15日（水） 会場：朝酌公民館



松江市では市・市民・事業者が一緒になって「住みよい共生社会の実現」を目指すための条例（「松江市障がい者差別解消条例」）を制定し、平成28年10月から施行しました。そこで今回、松江市より講師をお招きし、障がいについての考え方、制度の趣旨などを解説していただきました。「障がいのある人に対し、どう配慮すべきか」を参加された皆さん一人一人が考えさせられたようです。

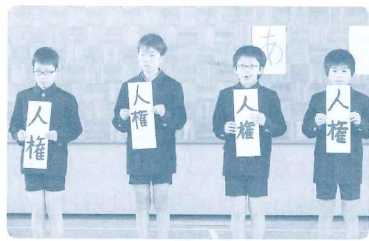
感想・意見

- ・ 学校の授業等で子どもたちにも教えてほしい。
- ・ 障がい者は施設、設備などの物理的なバリアのみならず、誤解・偏見の意識上のバリアにも苦しんでいることがよく分かった。
- ・ かつては眼鏡をかけている人も障がい者とみられていた、と聞いて周囲の認識が広まれば無くなる社会的障壁もあるのだと思った。

朝酌小学校人権標語

1年生

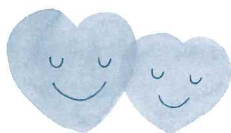
- おもいやり 人をたすける ささえあう
- ほっとする やさしいえがお みんなのえがお
- やさしいえがけ うれしいきもち みんながえがおで たのしいまいにち
- だいじょうぶ ひどりじゃないよ ぼくがいる
- みんなに えがおであいさつ きもちいい
- 「ありがと」「そのひとこと」で あなたのこころも わたしのこころも ぼっかばか
- ありがと うって いわれて うれしいな
- あいさつは みんながよく するまほう
- おもとだち いっしょにあそんで たのしいな
- たのしいな みんなとあそぶと たのしいな
- ともだちと けんかもあるけど がんばるよ
- だれにでも どんなときでも えがおだよ
- まだあした つないだてとて あったかい
- おはようと みんながいえば たのしい一日
- みんなが えがおで うれしいな
- あいさつを したらうれしい きもちいい
- あいさつは げんきにすると いいきもち
- 一人より みんなさそって あそぼうよ
- あそぼうよ みんなであそぶと たのしいね
- ありがとよ ごめんね そのひとことが たいせつ
- あいさつは みんなえがおに なるといい



人権集会 (12/6)

2年生

- みんな笑顔で 仲よくくらそう
- 大じょうぶ その一言で ほっとする
- こまってる 友達いたら たすけよう
- あいさつと やさしい気もち 大切に
- 手をつなぐ 明るいえがお 未来へジャンプ
- あいさつは みんなが元気に なることば
- 「がんばって」「おうえんしよう」で 力が出る
- ともだちと なかよくすると 楽しいね



3年生

- やさしくしよう 友達に ちゅういもやさしく 「いけないよ」
- さわえ合い みんなで「ありがと」「を」を 言うことば
- 「おはよう」「と元気なあいさつ 明るいえね
- やさしい気持ちで 助け合おう
- 「おはよう」「おはよう」「一言だけで いい気持ち
- けんかをせず 助け合おう 明るい学校になるよ
- 「おはよう」「ありがと」「あいさつ」で なかよくなる
- けんかをせず なかよくしよう やさしい心を もちたいな

- がまんせず だれかに言おう いやなこと
- みんなが 地いきのひと 助け合おう

4年生

- やさしさは 返ってくるよ やさしさを
- やさしい言葉が 笑顔を作る
- 「だまらずに 言いたいことは言い合おう 話した相手が 助けてくれる
- 友達に いいと見つけて 話し合おう
- ぼう力は 自分も人も うれしくないよ
- 声かけて こまっている人 助けよう
- いやなこと さちんと「やだ」と 言ってみよう
- 笑顔ですごせば みんなが楽しい 朝酌小
- 友達と 自分の心をきずつけないで 大切に
- あいさつしよう 地いきの人が やさしくあいさつ してくれる
- 一人ぼっちにしないでね みんなで作ろう 明るい学校
- つくろつよ クラスの笑顔と安心を
- 見つけよう 伝え合おう 身近な友達の いいところ
- 自分から 気持ちのよい あいさつをしよう
- 「おはよう」で 始める楽しい 今日、一日
- 「おはよう」で クラスみんなで 友達の輪
- 「ありがと」「そのハートこそ 大切なもの
- がんばろう みんなで明るく 声をかけよう
- 一人じゃないよ みんなや地いきの人たちが いつもそばにいるからね

5年生

- 「まわっているね。」声をかけて 笑顔にしよう
- 「楽しいね。」みんなが笑って 楽しさを百倍
- みとめ合い 明るく楽しく 過ごそうよ
- 明るい自分も 笑顔の友達も 大切に
- やめようね かげで悪口 いやがらせ
- 朝酌つ子 ほかほか言葉で いい笑顔
- 守ろうよ みんなの心 ほかほか言葉
- 気持ちよく過ごしたい 幸せに生きたい みんなで守ろう
- 泣かないで わたしがいるから 大丈夫
- 友達 自分が なやんでいるところまで すすんでいこう みんなの願い
- どんな小さなことでも相談しよう みんなで守ろう みんなの願い

6年生

- 「全員が 納得できる」これも人権を守ること
- 遊ぼうよ きみもぼくらも いっしょだよ
- 朝酌つ子 みんなで応援 走りきれ
- 一人より 二人のほうが がんばれる
- やさしい言葉 その一言で すぐわかる
- たくさんの 一人一人のがんばりを 見つけよう
- 朝酌小 みんなで笑顔で 映かそうよ
- 大丈夫 仲間がいるよ すぐそこに
- 遊ぼうと 声をかけて大切にしよう 友達を
- 一人一人の意見を取り入れて みんなでつくる 委員会
- 思いやり みんながもてば 笑顔さへ

